

栃木放送平成 27 年度第 9 回 2 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 28 年 2 月 18 日 (木) 午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 7 名

欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	小 林 一 巳
	委 員	高 橋 幸 裕
	委 員	鈴 木 俊 男
	委 員	大 島 幸 雄

局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作部	福 嶋 真 理 子
	編成部長	宇 賀 神 仁

4 議 題

(1) 「歌のない歌謡曲」について

(2) その他

・番組基準の諮問について

5 議事内容

(1) 「歌のない歌謡曲」について

試聴番組：11 月 13 日に CM コンクールで銅賞を受賞した

「歌のない歌謡曲」を予め試聴

議題説明：報道制作部 福嶋が番組・コンクールの概要について説明。次に審議に入る。

各委員からは、

- 素材と熱意の勝利だった。先生のコメント、子供たちのやり取りも自然でよかった。聞かせる構成で、CMもうまく聴かせたと思う。全体的に愛を感じる番組だった。ただ、「オレ」という言葉が気になった。
- コンセプトの勝利だと思う。取材期間も長く丁寧な番組だった。スポンサーの狙いなのかかもしれないが、これ、CMだったのかと後から感じた。
- 卒業式で児童の名前を呼ぶところがよかった。CMもスムーズで選曲もよかった。明るい話題で賞を獲るのは局のイメージアップになる。せっかく賞を獲ったのだから新聞などに取り上げてもらうともっとイメージアップになる。もっとPRを。
- 自分の母校の話題で嬉しかった。車の中で聴いたが、BGMが低いような感じがした。別の枠で放送してもいいと思った。
- よく考えて取材していて、構成も斬新だった。
- 昔から聞いていて好きな番組。先生が児童より目立っていたのは残念。
- 昔の「仰げば尊し」や「蛍のひかり」の卒業式ではない時代であるというところから入っていて、歌につなげたのはよい。
- 児童の心に残る卒業式を発想した先生は素晴らしいと思う。それを上げた放送も素晴らしい。などの意見が出された。当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

栃木放送番組基準の改正について、編成部長の宇賀神が説明し、諮問。

平成27年度第10回3月期の審議会を3月10日(木)に開催することを決めて閉会した。